

平成21年度 連絡・協力の促進に係る事業一覧

1. 青少年教育施設・団体を対象とした連絡協力促進事業(29事業)

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	参加団体数
本部	体験の風をおこそうフォーラム	体験活動の重要性を全国に発信していくため、自然体験活動や生活体験活動等の推進の在り方について協議するとともに、社会全体で体験活動を推進するという気運を高める。	2.10(水)	253	64
本部	体験活動推進フォーラム	青少年が健康な心身を培うための体験活動の推進を図る。	3.26(金)	222	97
センター	全国都市型青少年施設職員研究協議会	都市型青少年施設に勤務する職員が一堂に会し、施設運営における共通の課題について研究協議し、今後の事業運営の参考に資する。	1.26(火)～28(木)	106	80
大雪	青少年体験活動フォーラム	北海道・東北エリアにおける体験活動関係者が一堂に会して現状や課題を協議するとともに、現在注目されている体験活動を広く一般への普及を図る。	2.15(月)～16(火)	80	4
大雪	「北海道青年の家等連絡協議会」所長運営会議	北海道青年の家等連絡協議会に所属する各施設からのニーズを把握するとともに、当交流の家から青少年教育に関する情報を提供することで、公立施設と協働した青少年教育の推進を図る。	6.4(木)～5(金)	18	18
岩手山	岩手県内青少年集団宿泊教育施設職員合同研究会	岩手県内の青少年教育施設が当面する諸課題について共通理解を深めるとともに、今後の施設運営の方策について研究協議を進め、充実発展を図る。	11.5(木)～6(金)	41	6
岩手山	平成21年度オリンピック巡回指導事業「バレーボール教室&バレーボール交流試合INテニspark」	オリンピックにより、子どもたちにバレーボールの楽しさや技術向上のヒントを伝えるとともに、オリンピックへの理解を深める。併せてバレーボールスポーツ少年団の交流を深める。	2.20(土)～21(日)	427	16
能登	石川県青少年教育施設連絡協議会・資質向上研修会	青少年教育施設職員が一堂に会し、青少年教育を取り巻く課題の解決や国の施策の具現化に向けての取り組みについて意見交換することにより、青少年教育施設職員としての資質の向上と連携の強化を図る。	10.27(火)～28(水)	38	11
中央	2009全国ワークキャンプフォーラム ①リーダー養成講座 ②ワークキャンプフォーラム	青少年のワークキャンプのプログラム開発と普及を図るため、NPO団体等を連携しリーダー養成のためフォーラムを開催する。	①7.4(土)～5(日) ②1.9(土)～10(日)	112	60
三瓶	青少年教育指導者ミーティングinSANBE	青少年教育施設・青少年教育団体等に所属し事業を企画・運営している担当者やボランティアが集まり、企画事業に関する情報・ノウハウなどの情報交換を行う中でお互いの事業について理解し、企画運営に関する学びを深める。	①5.11(月)～12(火) ②2.25(木)～26(金)	11	5
江田島	広島県青少年教育施設等連絡協議会	広島県内の青少年教育施設等の相互の連絡と研究を深め、各施設の管理運営の向上と青少年教育事業の発展を図ることを目的とする。	3.18(木)	11	13
大洲	四国ユースフォーラム～ワカイン宿から四国発進～	四国4県の青年団や若者を対象に、地域興しや地域文化の活性化を促す活動を通して、四国の未来を担うリーダーを育成するとともに、四国4県の若者ネットワークの強化を図る。	2.6(土)～7(日)	33	13
大洲	小学校長期自然体験活動推進・普及検討会議	「小学校の長期自然体験活動」を推進するために、教育効果の高い自然体験活動モデルプログラムの開発と指導者の養成を進めているが、学校が長期に自然体験活動を実施するためには解決すべき課題も残されている。このため関係機関等と連携して問題点を検討し、長期自然体験活動の推進と普及を図る。	通年	10	3
阿蘇	日本一の草原キッズになろう:秋編	阿蘇の草原環境の現状の理解を図り、環境保全への意識を高めるモデルプログラムを開発するとともに、団体・地域・学校と連携し、草原再生へ向けたネットワークを構築する。	10.17(土)～18(日)	100	10
阿蘇	日本一の草原キッズになろう:野焼き編	野焼き体験をとおして、阿蘇の草原維持活動を体験し、環境保全への意識を高めるとともに、団体・地域・学校と連携し、草原再生に向けたネットワークを構築する。	2.20(土)～21(日)	80	10

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	参加団体数
阿蘇	ボランティア交流会	九州地区の国立青少年教育施設が連携し、ボランティアによる交流事業を行うことをとおしてボランティア意識の更なる向上と、地域社会での活動や施設間のボランティア活動をしやすい雰囲気づくりを行う。	3.13日(土)～14(日)	39	9
日高	北海道青少年教育施設職員研修会	北海道内の青少年教育施設を対象とした職員の資質の向上研修や当面する課題に関する研究協議を通して、国立施設としての事業の普及や連携の強化を推進する。	11.12(木)～13(金)	47	17
日高	北海道自然体験活動指導者交流ミーティング	自然体験活動を提供する指導者が一堂に会し、自然体験活動の最新情報や課題を共有するとともに、共通のテーマに沿った研究協議や交流活動を行い、技術の向上や新たなネットワークづくりをすすめ、北海道全体の自然体験活動の活性化を図る。	10.23(金)～25(日)	58	27
那須甲子	青少年体験活動フォーラム	青少年教育に関する機関・団体等の情報交換・交流をワークショップ等の指導を通して、青少年教育指導者の資質向上を図る。	11.21(土)～22(日)	143	88
那須甲子	教育臨床のためのプログラム開発研究会	事業の参加者や宿泊学習の児童生徒と関わり合う教育支援スタッフの教育臨床プログラムの開発を行う。	①6月 ②1月	19	13
妙高	豊かな体験活動推進フォーラム	「豊かな体験活動」の一層の推進を図るため、関連する諸機関との連携を図り、各種事業の取組から得られた成果や課題を明確にし、その改善の方策を探ることを目的とする。	10.24(土)～25(日)	261	54
妙高	平成21年度上越地区特別支援教育研究大会	新潟県内の特別支援教育を推進する関係機関と連携し、研究大会を開催することにより、特別に支援を要する児童・生徒を対象とした自然体験活動の行い方や指導法及び国立青少年教育施設の効果的な活用方法を発信・普及する機会とする。	8.20(木)	450	11
曾爾	青少年体験活動フォーラム	青少年体験活動の関係者が一同に会し、青少年の長期にわたる集団宿泊活動に関する事例研究や情報交換等を行い、今後の青少年の体験活動の充実を図る。	12.5(土)～6(日)	128	21
吉備	中国ブロック青少年体験活動フォーラム in 岡山	青少年の体験活動の関係者が、青少年の体験活動に関する協議・情報交換等を行い、今後の青少年の体験活動の充実を図る。	2.13(土)～14(日)	87	46
山口徳地	徳地ぼんぼこ自然学校	地域の青少年育成に関係する機関や団体・グループが企画・運営を行うことで、地域で子どもを育てる気運や体制づくりを進める。	①5.30(土) ②6.27(土) ③8.1(土)～2(日) ④8.29(土) ⑤10.10(土) ⑥12.5(土) ⑦1.30(土) ⑧2.27(土)	545	6
夜須高原	北部九州広域ボランティア養成システム構築事業	ボランティアのニーズと、社会教育施設のニーズが合わさる部分を捉え、ボランティア活動としての参加の機会及び養成の場を、九州北部4県(福岡・佐賀・熊本・大分)で、システムティックに構築する。	通年	12	9
夜須高原	福岡県「障害児」自立促進プログラム開発事業	夜須高原青少年自然の家を持つノウハウとフィールドを生かし、福岡県の二つの公立施設と連携して、障害のある児童・生徒の自立と保護者のネットワーク作りを目指したプログラムを開発する。	①12.12(土)～13(日) ②1.9(土)～11(月)	61	2
夜須高原	平成21年度オリンピック巡回指導事業	オリンピックで活躍した柔道選手を招き、講演や実技指導を通して青少年の健全な育成並びに青少年のスポーツ活動の振興を図るとともに、オリンピックムーブメントへの理解を深める。	2.7(日)	81	1
大隅	青少年体験活動フォーラム	九州地区内の青少年教育に関する機関・団体等の情報交換・交流を図り、青少年教育指導者の資質向上を図る。	2.13(土)～14(日)	40	24

2. 小学校等と連絡・協力した事業(19事業)

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	連携先
赤城	あかぎフォレストステイ体験隊 ～火と水と森の7日間～	環境教育・環境保護活動を実践する民間団体(赤城自然塾)との連携のもと、事業協力校の教育課題を踏まえつつ、児童を対象とした環境教育プログラムを開発する。	8.17(月)～23(日)	27	前橋市立荒牧小学校 他1機関
能登	コミュニケーション育成事業 「教え学び支え合う人間関係づくり」	体験学習を通して、児童・生徒のコミュニケーション能力や他者理解能力を育成し、児童・生徒間、児童・生徒と教師間の相互理解を深める。	①1.13(水)～14(木) ②1.19(火)～20(水)	409	羽咋市教育委員会
能登	小学校自然体験活動モデルプログラム開発	国の施策に対応した専門的な調査研究として、小学校と地方教育施設が連携した長期自然体験活動モデルプログラム開発の楽しさや喜びを伝えることができる青年の養成を図る。また、青少年教育ボランティア活動の充実に必要な専門的知識や技能についての研修を行い、青少年教育ボランティアとしての資質の向上を図る。	通年	11	輪島市教育委員会
乗鞍	自然体験活動ボランティアリーダー養成セミナー	自然体験活動の理論や技術を学習するとともに、その成果を生かして、小学校の自然体験活動の企画及びボランティア体験活動に参加することを通して、子どもたちに自然体験活動の楽しさや喜びを伝えることができる青年の養成を図る。また、青少年教育ボランティア活動の充実に必要な専門的知識や技能についての研修を行い、青少年教育ボランティアとしての資質の向上を図る。	①6.21(日)～26(金) ②9.27(日) ～10.2(金) ③10.11(日)～16(金)	88	高山市内小学校 長会
乗鞍	小学校自然体験活動モデルプログラム開発	国の施策に対応した専門的な調査研究として、小学校と地方教育施設が連携した長期自然体験活動モデルプログラムの開発に取り組み、その成果を研修支援事業で活用するとともに、小学校や公立青少年教育施設等に普及する。	通年	65	高山市内小学校 他1機関
中央	小学校自然体験活動モデルプログラム開発	国の施策に対応し、小学校と地方教育施設が連携した長期自然体験活動モデルプログラムの開発に取り組み、その成果を研修支援事業で活用するとともに、小学校や公立青少年教育施設等に普及する。	通年	51	小山町立足柄小学校
三瓶	利用促進・広報業務「さんべ祭」	三瓶山周辺地域の活性化を図るため、三瓶山北の原地区3施設が軸となり、周辺の社会教育施設やNPO団体・地域団体と連携し事業を展開する。	①10.24(土) ②10.25(日)	4,500	出雲養護学校大田分教室 他3校
大洲	小学校長期自然体験活動推進・普及検討会議	「小学校の長期自然体験活動」を推進するために、教育効果の高い自然体験活動モデルプログラムの開発と指導者の養成を進めているが、学校が長期に自然体験活動を実施するためには解決すべき課題も残されている。このため関係機関等と連携して問題点を検討し、長期自然体験活動の推進と普及を図る。	通年	10	大洲市立大洲小学校 他2校
日高	少年環境調査隊	学校と地域の連携強化による環境教育を実践し、その教育効果の調査研究を行うことにより、新学習指導要領の総合的な学習の時間に対応した効果的な環境教育の在り方と、国立施設の役割について検討し、その普及啓発を図る。	6.2(月)～10.1(水)	59	日高町立日高小学校 他1機関
那須甲子	教職員スキルアップセミナー	教師にとって指導力を向上させることは重要な責務である。教科指導はもちろん、生活指導や食育も含め、「なすかしの森」での体験活動を生かした指導法を学び、児童生徒への教育的効果を高める。	8.6(木)	84	西郷村教育委員会 他8校
信州高遠	幼稚園等新規採用教員研修	幼児期に必要な自然体験活動や集団活動の基本的な知識を学び、幼稚園教育指導者としての資質の向上を図る。	8.4(火)～6(木)	59	長野県教育委員会
信州高遠	幼稚園・保育園支援事業	当青少年自然の家で開発した幼児の自然体験活動プログラムの体験を通して、幼児期における自然体験活動を普及する。	①9.1(火) ②9.2(水) ③9.3(木) ④9.7(月) ⑤9.8(火) ⑥9.25(金) ⑦9.29(火) ⑧10.1(木) ⑨10.6(火) ⑩10.7(水) ⑪10.16(金) ⑫10.20(火) ⑬10.21(水) ⑭10.22(木) ⑮10.23(金)	425	松本短大幼稚園 他13校・園

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	連携先
妙高	小学校自然体験活動モデルプログラム開発	「青少年体験活動総合プラン委託要領」に基づき、小学校が実施する1週間程度の自然体験活動を充実させるために、受け入れ側である当自然の家が中心となって、学校の教育活動として行う「長期長期自然体験活動」のプログラムを開発する。	通年	—	足立区立東綾瀬小学校他1校
立山	小学校自然体験活動モデルプログラム開発	国の施策に対応した専門的な調査研究として、小学校と地方教育施設が連携した長期自然体験活動モデルプログラムの開発に取り組み、その成果を研修支援事業で活用するとともに、小学校や公立青少年教育施設等に普及する。	通年	58	魚津市大町小学校
若狭湾	小学校自然体験活動モデルプログラム開発	国の施策に対応した専門的な調査研究として、小学校と地方教育施設が連携した長期自然体験活動プログラムの開発に取り組み、その成果を研修支援事業で活用するとともに、小学校や公立青少年教育施設等に普及する。	通年	42	京都市立紫竹小学校
曾爾	小学校自然体験活動モデルプログラム開発	国の施策に対応した専門的な調査研究として、小学校と地方教育施設が連携した長期自然体験活動モデルプログラムの開発に取り組み、その成果を研修支援事業で活用するとともに、小学校や公立青少年教育施設等に普及する。	通年	—	宇陀市立守道小学校
山口徳地	発達段階に応じた「よりよい人間関係をつくる力の育成」を目的とする体験学習プログラム開発	これまでの成果を基に、小・中学校と連携してプログラムの実施と効果の検証を繰り返しながら、より児童・生徒の各発達段階に応じた体験学習法を用いたプログラムを開発する	通年	—	研修支援事業でTAPを実施した小学校(6校)
夜須高原	夜須高原やる気MAX体験楽校	体験活動が子どもたちのモチベーションを高める事実に注目し、体験活動を媒介とした学習意欲の増進の面から、わが国最大の教育課題の一つである学ぶ意欲等の低下問題に取り組む。	①4.17(金)～19(日) ②8.7(金)～9(日) ③11.6(金)～8(日)	209	大牟田学園
夜須高原	小学校自然体験活動モデルプログラム開発	国の施策に対応した専門的な調査研究として、小学校と地方教育施設が連携した長期自然体験活動モデルプログラムの開発に取り組み、その成果を研修支援事業で活用するとともに、小学校や公立青少年教育施設等に普及する。	通年	44	柳川市立中島小学校

※参加者数を「—」とした事業は、調査研究事業のため参加者を募集しなかったものである。

3. 特定の状況にある青少年に関係する機関を対象とした連絡協力促進事業(3事業)

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	参加
					団体数
赤城	青少年自立支援者のための研究交流フォーラム ～体験から学び主体的に人生を生きることをめざす支援～	生活体験・自然体験をとおり、発達障害(児)者や社会不適応者、一般の青少年の自立に取り組んでいる支援者及び自立支援に関心を有する人々を対象に開催する。参加者の事例発表や先進的な事例紹介及び協議、支援者としてのスキルアップ研修、課題解決に結びつく情報の提供・交換などにより、自立支援者の資質向上と支援方法のスキルアップを図るとともに、参加者間での有機的な連携を構築し、連携支援活動の充実を目指す。	12.4(金)～6(日)	110	81
大雪	子どもたちのハートをつかめ!	日本学校教育相談学会愛媛県支部と連絡協力体制をとりながら、事業教育相談に関わる教職員・施設職員等が、不登校状態にある児童・生徒、ひきこもりがちな青年およびその保護者の理解と対応の仕方について、教育学的心理学的見地から研修を行い、能力を高める。	1.6(水)～7(木)	81	51
日高	全国青少年相談研究集会	青少年の相談事業に携わる者が一堂に会し、事例研究や情報交換、相談技術の実習を通して、団体間の連絡協力の促進及び相談担当者の指導力向上を図ることにより、今後の青少年相談事業の充実に資する。	9.30(水)～10.2(金)	105	84

4. 大学等高等教育機関等と連絡・協力した事業等(92事業)

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	連携先
本部	体験の風をおこそうフォーラム	体験活動の重要性を全国に発信していくため、自然体験活動や生活体験活動等の推進の在り方について協議するとともに、社会全体で体験活動を推進するという気運を高める。	2.10(水)	253	体験の風をおこそうフォーラム実行委員会 他3団体
本部	体験活動推進フォーラム	青少年が健康な心身を培うための体験活動の推進を図る。	3.26(金)	222	社団法人青少年交友協会
センター	高校生職業体験事業 ～キャリア・プロジェクト・2009～	高校生を対象に日本が世界に誇る製造業、IT関連企業や伝統的なものづくり、ユニークな商品開発等において一流技術を持つ企業を訪問し、職業体験を通して働く意味を考え、新たな勤労観を育成する。	7.20(月)～23(木)	39	国際ロータリー第2580地区
センター	演劇的表現活動を用いた指導者講習会 ～指導者に必要な表現力を高める～	子どもの思考力、表現力を涵養し、創造性ある青少年を育成するため、表現力や子どもを受容する態度を演劇的手法から学び、青少年教育指導者としての資質向上を図る。	8.21(金)～23(日)	26	社団法人日本児童演劇協会
センター	子ども国際交流事業 ①ベルギーの高校生との交流体験プログラム ②アジアユースパラゲームズ参加選手との交流体験プログラム	青少年教育施設でボランティア活動をしている青年に、国際交流プログラムを自ら企画し、運営するボランティア活動の機会を提供することにより、ボランティアの資質向上を図り、事業への参画を促進する。	①8.27(木) ②9.12(土)	49	東京2009アジアユースパラゲームズ組織委員会 他2団体
センター	子どもの体力向上実践指導講習会	運動の苦手な子どもの体力向上を図るために、比較的容易に取り組めるニュースポーツ等を題材に、体を動かす楽しさを伝える指導法を研究討議する場を設け、今後の青少年教育施設職員やスポーツ関係者の参考に資する。	1.9(土)～11(月)	91	財団法人日本レクリエーション協会
センター	全国都市型青少年施設職員研究協議会	都市型青少年施設に勤務する職員が一堂に会し、施設運営における共通の課題について研究協議し、今後の事業運営の参考に資する。	1.26(火)～28(木)	106	財団法人児童育成協会こどもの城 他4団体
大雪	青少年自立支援プログラム職業編 「ゆーすびあ“職”セミナー09」	ひきこもりやニートなど特定の状況にある青年に対して、働くことを通じて豊かな人間関係を構築する能力や自立への意欲を高める。	①9.27(日) ～10.3(土) ②10.27(火)～31(土)	18	北海道高等学校校長協会
大雪	指導者のための人間関係づくりセミナー	望ましい人間関係づくりに必要な理論的背景や体験的手法を学ぶ機会を提供し、指導者の資質向上を図るとともに、体験学習法への理解を広げる。	11.21(土)～23(月)	31	北海道小学校長会
大雪	青少年の総合的な自立支援に関する調査研究	当所のビジョンである「青少年の自立を総合的に支援する」ため、各企画事業の成果を分析・検討して、体系的な自立支援プログラムの開発を目指すとともに、自立支援関連機関の有機的連携モデルのあり方を探る。	通年	—	北海道教育委員会 他2団体
大雪	「北海道青年の家等連絡協議会」所長運営会議	北海道青年の家等連絡協議会に所属する各施設からのニーズを把握するとともに、当交流の家から青少年教育に関する情報を提供することで、公立施設と協働した青少年教育の推進を図る。	6.4(木)～5(金)	18	北海道青年の家等連絡協議会 他17団体
大雪	公立施設へのプログラム普及事業	これまで当交流の家が実施してきた「高等学校生徒会フォーラム」を北海道全域へ普及するため、北海道立の青少年教育7施設で実施する。各施設での実施を通して、当交流の家との連携体制を強化するとともに各施設のブラッシュアップを図る。	通年	325	北海道立の青少年教育7施設
大雪	登山に関する安全管理	施設で提供する登山プログラムにおいて、学校をはじめとする利用者団体が安心して取り組めるように、登山活動における安全管理の調査研究を行い、職員の資質向上に努めるとともに、成果のまとめとして「登山に関する手引き書」を作成する。	通年	—	美瑛町山岳連盟 他2団体

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	連携先
岩手山	岩手県内青少年集団宿泊教育施設職員合同研究会	岩手県内の青少年教育施設が当面する諸課題について共通理解を深めるとともに、今後の施設運営の方策について研究協議を進め、充実を図る。	11.5(木)～6(金)	41	岩手県内青少年集団宿泊教育施設連絡協議会 他5団体
岩手山	平成21年度オリンピック巡回指導事業「バレーボール教室&バレーボール交流試合INテンパーク」	オリンピックにより、子どもたちにバレーボールの楽しさや技術向上のヒントを伝えるとともに、オリンピックへの理解を深める。併せてバレーボールスポーツ少年団の交流を深める。	2.20(土)～21(日)	427	特定非営利活動法人 日本オリンピック協会 他1団体
磐梯	ミュージックセミナー	学年・学校の枠を超え、主体的・意欲的に音楽活動に取り組む青少年の交流を促進し、技術の向上を図るとともに、幅広い人間関係や社会性の育成を図る。	10.31(土)～11.1(日)	75	国立大学法人東京藝術大学
赤城	あかぎナチュラルドリーム～あなたにも環境教育のすすめ方が見えてくる～	本所がこれまで構築してきた人的資源や環境教育プログラム、環境教育の進め方のノウハウなどをベースに、学校の環境教育の進め方やプログラムの作成の仕方を学び、環境教育指導者の養成と学校などでの環境教育を普及する。	9.21(月)～23(水)	19	赤城自然塾
赤城	青少年自立支援者のための研究交流フォーラム～体験から主体的に人生を生きることをめざす支援～	生活体験・自然体験をとおり、発達障害(児)者や社会不適応者、一般の青少年の自立に取り組んでいる支援者及び自立支援に関心を有する人々を対象に開催する。参加者の事例発表や先進的な事例紹介及び協議、支援者としてのスキルアップ研修、課題解決に結びつく情報の提供・交換などにより、自立支援者の資質向上と支援方法のスキルアップを図るとともに、参加者間での有機的な連携を構築し、連携支援活動を充実する。	12.4(金)～6(日)	110	(社福)青葉仁会 知的障害者社会就労センター 他6団体
赤城	あかぎフォレストステイ体験隊～火と水と森の7日間～	環境教育・環境保護活動を実践する民間団体(赤城自然塾)との連携のもと、事業協力校の教育課題を踏まえつつ、児童を対象とした環境教育プログラムを開発する。	8.17(月)～23(日)	27	赤城自然塾 他1団体
能登	体験型環境学習事業「スノーケリングで探る”私と海と地球の未来”」	ビーチコーミングや磯場観察などを通じた海辺環境やスノーケリング実習による海中環境の現状を理解し、これらを保存していこうとする態度を養う。	6.19(金)～21(日)	23	アクアマリン
能登	青年の社会性育成事業「能登まるごと体験！若者交流“スローライフinのと”」	能登の自然・風土・文化にふれ、農業・漁業体験や人との交流体験を通して、コミュニケーション能力や自己肯定感を高め、社会的自立を促進する。	9.1(火)～7(月)	11	金沢星陵大学
能登	石川県青少年教育施設連絡協議会・資質向上研修会	青少年教育施設職員が一堂に会し、青少年教育を取り巻く課題の解決や国の施策の具現化に向けての取り組みについて意見交換することにより、青少年教育施設職員としての資質の向上と連携の強化を図る。	10.27(火)～28(水)	38	石川県教育委員会 他2団体
乗鞍	Feel the Wind～のりくらを感じよう！自然・仲間・自分～	青年が悩みを持つ小中高生と共に自然体験活動や支援・援助活動を通して、互いのコミュニケーション作りを促進し、心を開いて交流できる人間関係能力や社会的役割能力を育成する。また、異年齢間交流によって自立した青少年の育成を推進する。	①青年 7.10(金)～12(日) 児童生徒 7.11(土)～12(日) ②青年 2.5(金)～7(日) 児童生徒 2.6(土)～7(日)	55	岐阜県教育委員会(角逐適応指導教室)
乗鞍	セルフディスカバリー in のりくら～本当の自分に出会うたび～	社会的自立が図られていない若者や不登校・引きこもりで悩む青少年を対象に、大自然に恵まれている奥飛騨の環境を活かした自然体験活動やワークショップを通して、コミュニケーション能力や忍耐力を身に付け、社会的自立をめざすきっかけづくりとする。	7.4(土)～5(日)	14	NPO法人若者自立塾

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	連携先
乗鞍	守ろう環境！広げようボランティア活動！	環境保全活動は、今後も拡大させていくことが急務であることから、地域団体や青年との連携を支援し、環境学習を通して意識の高揚を図る。	10.23(金)～25(日)	14	環境省自然保護官事務所 他2団体
中央	富士のさとボランティアスクール	当機構のボランティアとして一定レベルの資質を確保するとともに、青少年教育におけるボランティア活動を推進し、その活動機会の拡充を図るため、法人ボランティアを養成する。	9.21(月)～23(水)	21	桐蔭横浜大学 サービスマーケティング
中央	自然体験活動指導者養成研修	「小学校の1週間の自然体験活動」において、教育効果の高い自然体験・生活体験活動の機会を提供するために、プログラム計画立案の助言、活動時の全体指導や活動の様子把握と助言、事業評価の助言などを行う指導者を養成する。	①8.21(金)～24(土) ②2.11(木)～14(日)	56	NPO法人里の楽校 他1団体
中央	アジア青少年国際交流推進事業 日・タイ青少年交流事業	人種・国境を超えて、グローバルな視点に立って活躍できる、意欲を持った青少年の育成を図るため、アジア各地と日本の青少年がホームステイ等の交流を通じ、理解を深める。	9.29(月)～10.10(金)	19	マカオ青少年教育局 他4団体
中央	2009全国ワークキャンプフォーラム ①リーダー養成講座 ②ワークキャンプフォーラム	青少年のワークキャンプのプログラム開発と普及を図るため、NPO団体等を連携しリーダー養成のためフォーラムを開催する。	①7.4(土)～5(日) ②1.9(土)～10(日)	112	NPO法人NICE 他8団体
中央	高等教育機関と連携した社会体験活動プログラムおよび研修支援プログラム開発	青少年の体験活動をより豊かなものにするため、高等教育機関と国立青少年教育施設が連携した新しい活動プログラムを試行する。	通年	64	群馬県立女子大学 他1団体
三瓶	ボランティアリーダー養成事業 「ボランティア活動入門セミナー」	ボランティア活動を始めようとする青年に、ボランティアについての学びの場を提供することで、ボランティアな心を育むと同時に社会の様々な場面で主体的に活動することができる人格の形成に資する。	5.22(金)～24(日)	22	島根大学教育学部 附属教育支援センター
三瓶	ボランティアリーダー養成事業 「ボランティアスキルアップセミナー」	ボランティア活動をする上で必要なスキルの向上を図り、併せてボランティア活動に対する情熱と社会貢献の意欲を高めることによって、ボランティアリーダーの養成に資する。	6.5(金)～7(日)	19	島根大学教育学部 附属教育支援センター
三瓶	次代のリーダー育成事業 「さんべ夢ステージ」 ～君こそが、未来のリーダーだ！～ ①企画力・運営力アップセミナー編 ②想いを形にする編 ③夢が現実になる本番編	主体的に社会に参画しようとしている青年を対象に、事業の企画・運営を通してリーダーシップを身につけ、将来のリーダーとなるための体験を通じた学びを提供する。また、「リーダーシップ」をキーワードに、企画・運営の様々な場面で合意形成・問題解決を繰り返す中で対人関係力などをリーダーとして必要な資質の向上を図る。	①7.3(金)～5(日) ②8.22(土)～23(日) 9.14(月)～15(火) 9.29(火)～30(水) 10.3(土)～4(日) 10.16(金)～18(日) ③10.23(金)～25(日)	103	島根大学教育学部 附属教育支援センター
三瓶	若者の自立支援事業 「さんべ発!! Shoku(食・触・職)の創造プロジェクト」 ①食を知る ②触を感じる ③職を考える	青年が自立した人間として成長することを支援するため、三瓶山周辺の豊かな自然に生まれた伝統食・生活文化・先達の智慧や技に触れる自然体験・社会体験活動を提供することで、青年の行動の原動力である意欲や職業的自立の礎となる社会性を培う。	①9.4(金)～6(日) ②10.3(土)～4(日) ③10.23(金)～25(日)	80	ジョブステーション出雲 他8団体
三瓶	公立青少年教育施設・青少年団体等との連絡協力促進事業 「青少年教育指導者ミーティング in SANBE」	青少年教育施設・青少年教育団体等に所属し事業を企画・運営している担当者やボランティアが集まり、企画事業に関する情報・ノウハウなどの情報交換を行う中でお互いの事業について理解し、企画運営に関する学びを深める。	①5.11(月)～12(火) ②2.25(木)～26(金)	11	島根県立青少年の家 他5団体

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	連携先
三瓶	非行少年の立ち直り支援事業「SANBE親子合宿～生命の絆～」	青少年の非行を防止し、併せて罪を償い社会復帰を図ろうとする青少年を支援するため、親子が寝食を共にしながら自然体験活動を行うことで、関わり合うことの大切さに気づき、親子関係の修復を図り問題の解決に資する。	11.9(月)～10(火)	4	松江家庭裁判所
三瓶	利用促進・広報業務「さんべ祭」	三瓶山周辺地域の活性化を図るため、三瓶山北の原地区3施設が軸となり、周辺の社会教育施設やNPO団体・地域団体と連携し事業を展開する。	①10.24(土) ②10.25(日)	4,500	島根県立三瓶自然館 他20団体
三瓶	利用促進・広報業務「秋冬パッケージプログラム」	研修プログラムの情報提供をすることで、冬期間の利用および次年度の利用拡大を図る。また、新規プログラム開発のための試行の機会とする。	11月～3月 1泊2日×10回	66	大田市商工観光課 他2団体
江田島	野外活動指導者養成講座～アウトドア・インストラクターセミナー～	青少年団体指導者及び野外活動に関心を持つ青年などが、野外活動に必要な知識・技術について研修し、指導者としての実践力を身に付ける。	①5.9(土)～10(日) ②5.30(土)～31(日) ③6.19(金)～21(日)	36	国立大学法人広島大学 他1団体
江田島	カッターズ春・夏・秋・冬キャンプ	青年ボランティアグループ「カッターズ」を中心とする青年スタッフに、子どもたちの体験活動を指導するリーダーとしての資質や指導力及び実践力を身に付ける。	①6月 ②8.14(金)～16(日) ③10月 ④2月	419	広島市似島臨海少年自然の家
江田島	子育てパパとママのお泊り井戸端会議	親と子ども(乳幼児)と一緒に宿泊し、他の家族との情報交換や様々な活動を通して、親子の信頼関係を構築するとともに、施設を利用している青少年との交流を図ることで、将来の親となる若者に親子の絆や子育てのすばらしさを伝える。	①7.4(土)～5(日) ②7.19(土)～20(日) ③9.21(月)～22(火) ④9.26(土)～27(日)	156	江田島市子育て支援センター
江田島	体験航海セミナー	海に関する職業に関心を持つ青少年に、広島商船高等専門学校の練習船等での航海体験・船員体験を通して、働くことの意義について考えさせる。また、瀬戸内海の水運や環境について学ばせ、海や船舶に関する知識や技能を深める。	8.7(金)～9(日)	10	国立広島商船高等専門学校
江田島	青少年国際平和未来会議	ドイツ、イギリス、イタリア、中国、韓国等の青年たちと日本の青年たちに、異文化交流や海洋活動、環境問題をテーマにしたディスカッション等を通じて、国際感覚を育み、グローバルな視点で環境を保全していく意欲・態度を身に付ける。	8.13(木)～16(日)	53	広島市 他2団体
江田島	われら瀬戸内探偵団～瀬戸内海的环境から学ぶ～	近隣の瀬戸内海岸での生物観察・調査からスタートし、瀬戸内海域へフィールドを広げ、環境問題について考えていく体験的・問題解決的な学習を実施する。これらを通して、いま自分達に何ができるかを考え、環境保全・保護に配慮した積極的な行動がとれる意欲・態度を養う。	8.20(木)～22(土)	26	国立大学法人広島大学 他1団体
江田島	パイオニアスピリットセミナー	様々な分野でリーダーとして活躍している人々の出会いやコミュニケーション能力・自己表現能力などの演習等を通して、様々な場面でリーダーシップを発揮できる基礎力や実践力を養う。	8.22(土)～23(日)	22	江田島市教育委員会
江田島	フェニックススピリットキャンプ	非行など社会的不適応から立ち直ろうとする青少年に、集団宿泊体験や海洋活動・スポーツ活動・創作活動等を通じて、達成感や自己肯定感を体得させながら、次のステップに踏み出すきっかけとなるため支援する。	9.5(土)～6(日)	30	広島地方検察庁 他2団体
江田島	教員免許状更新講習	教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能の習得を図り、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬を得ることを目指す。また、機構で実施してきた教育効果の高い体験活動プログラムや指導方法のノウハウを活かした講習を行う。	11.21(土) 11.22(日) 11.23(月)	10	大柿自然環境体験学習交流館
江田島	広島県青少年教育施設等連絡協議会	広島県内の青少年教育施設等の相互の連絡と研究を深め、各施設の管理運営の向上と青少年教育事業の発展を図ることを目的とする。広域をカバーする社団法人全国青少年教育施設協議会中・四国ブロックで果たしている中核的役割(職員研修等)と合わせて、広島県内の施設の中核としての役割を果たす。	3.18(木)	11	広島県立福山少年自然の家 他11団体

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	連携先
江田島	法人ボランティアの教育的効果の検証	法人ボランティアが、事業を計画、企画及び運営することを通して、意識や行動がどのように変化したかなどの教育的効果を検証する。本事業により、ボランティア養成事業の有効性を検証し、その教育的効果を周知するとともに今後の事業の改善に資する。	通年	—	広島修道大学
江田島	発達段階に応じたリーダー養成プログラムの開発と試行	中国ブロック4施設(三瓶・江田島・吉備・山口徳地)が連携して役割分担し、小学校から大学生までの各年齢期に合致したリーダーシップを育むプログラムを企画事業と連動し開発する。	通年	—	広島修道大学
大洲	子どもたちのハートをつかめ!	日本学校教育相談学会愛媛県支部と連絡協力体制をとりながら、事業教育相談に関わる教職員・施設職員等が、不登校状態にある児童・生徒、ひきこもりがちな青年およびその保護者の理解と対応の仕方について、教育的心理学的見地から研修を行い、能力を高める。	1.6(水)~7(木)	81	日本学校教育相談学会愛媛県支部
大洲	四国ユースフォーラム〜ワカイン宿から四国発進	四国4県の青年団や若者を対象に、地域興しや地域文化の活性化を促す活動を通して、四国の未来を担うリーダーを育成するとともに、四国4県の若者ネットワークの強化を図る。	2.6(土)~7(日)	33	四国青年団協議会 他4団体
阿蘇	環境教育指導者養成研修(西部ブロック)	「国連持続可能な開発のための教育の10年」及び学習指導要領の改定を踏まえた環境教育を推進する際に留意すべき事項(外部資源の活用の在り方等)について必要な知識等の習得をはじめ資質・能力の向上を図るとともに、本研修内容を踏まえての各都道府県における研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等が受講者により行われるようにする。	9.29(火)~10.2(金)	45	独立行政法人教員研修センター
沖縄	沖縄県教育庁及び県立青少年教育施設との連絡会議	県立の青少年教育施設や主管課である県生涯学習振興課との連携を図ることで、沖縄県内にある公立青少年教育施設の連携を強め、相互協力可能な案件等を模索することで、青少年教育施設の更なる発展を目指す。	①4.8(木)~9(金) ②12.17(木)~18(金)	74	沖縄県教育庁生涯学習振興課 他2団体
沖縄	バリアフリーダイビング全国大会in沖縄	障がい者と健常者がマリンスポーツを通して触れあい、心のバリアを取り除く、海という自然の中でスポーツすることの「楽しさ」「喜び」「感動」を伝え、リハビリテーション及びノーマライゼーションに貢献する。職員を船舶とともに海上に派遣して、ダイビングの安全監視業務等を行われることにより、当事業の運営に協力する。	6.25(木)~28(日)	88	日本バリアフリーダイビング協会
沖縄	国際水中フェスティバル(渡嘉敷島公演会)	フランスはアンチーブ・ジュアンレバン国際水中映像祭で各賞に輝いた作品の中から厳選した作品を紹介する。素晴らしい海中の世界、秘められた海の生き物等を写し撮った映像を通して、水中の世界をもっと身近なものとして感じ、広く自然環境を考える機会を提供する。	6.5(土)	130	国際水中映像フェスティバル実行委員会日本事務局
日高	先人の知恵から学ぶ生活体験教育「ひだかモシリ零年」	アイヌ生活文化をはじめとする北海道の開拓史や文化など、先人の知恵や生活様式を長期生活体験を通して学ぶことにより、自らの生活様式を主体的に構成できる人間力の育成を図る。	7.31(金)~8.9(日)	27	日高北部森林管理署
日高	人間関係力向上を目指した体験学習指導者セミナー	ロープスクールの活動やラボラトリー方式の体験学習法を学ぶことにより、人間関係力やコミュニケーション力の向上を図ることのできる指導者を養成する。	6.12(金)~14(日)	32	NPO法人体験学習研究会 他2団体
日高	「ボランティアセミナーin北海道」ベーシックコース・チャレンジコース	ボランティア活動に必要な知識や技術の習得、さらには事業の企画・運営の実践を通して、青少年教育施設等で活躍のできるボランティアの養成を図る。	研修編 5.29(金)~31(日) 実践編 9.21(月)~23(水)	52	体験活動支援ネットワークFAN 他1団体
日高	自然体験活動指導者養成研修	「小学校の1週間の自然体験活動」において、教育効果の高い自然体験・生活体験活動の機会を提供するために、プログラム計画立案の助言、活動時の全体指導や活動の様子把握と助言、事業評価の助言などを行う指導者を養成する。	①10.29(木)~31(土) ②11.21(土)~23(月)	34	企業組合二風俗民芸

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	連携先
日高	北海道青少年教育施設職員研修会	北海道内の青少年教育施設を対象とした職員の資質の向上研修や当面する課題に関する研究協議を通して、国立施設としての事業の普及や連携の強化を推進する。	11.12(木)～13(金)	47	北海道青少年教育施設等連絡協議会
日高	北海道自然体験活動指導者交流ミーティング	自然体験活動を提供する指導者が一堂に会し、自然体験活動の最新情報や課題を共有するとともに、共通のテーマに沿った研究協議や交流活動を行い、技術の向上や新たなネットワークづくりをすすめる、北海道全体の自然体験活動の活性化を図る。	10.23(金)～25(日)	58	えぞCONE 他9団体
日高	小学校自然体験活動モデルプログラム開発	国の施策に対応した専門的な調査研究として、小学校と連携した長期自然体験活動モデルプログラムの開発に取り組み、その成果を研修支援事業で活用するとともに、小学校や公立青少年教育施設等に普及する。	通年	29	北海道教育大学 岩見沢校 他7団体
那須甲子	子どもを支援する青年ボランティア養成研修	機構のボランティアとして一定レベルの資質を確保するとともに、青少年教育におけるボランティア活動を推進し、その活動機会の拡充を図るため、法人ボランティアを養成する。	5.2(土)～4(月)	69	昭和女子大学 他2団体
那須甲子	Grow up your feeling～仲間とともに自然体験～	児童福祉施設で生活している子どもたちが、心身ともに健やかに成長・発達していくことを願い自然体験活動と心のふれあいの機会を提供する。	11.14(土)～15(日)	30	児童養護施設 「社会福祉法人 白河学園」
那須甲子	教育臨床のためのプログラム開発研究会	事業の参加者や宿泊学習の児童生徒と関わり合う教育支援スタッフの教育臨床プログラムを開発する。	①6月 ②1月	19	国立大学法人福 島大学 他12団体
信州高遠	社会人権教育研修会	「長野県人権教育・啓発推進指針」や「人権教育指導の手引」をふまえ、社会人権教育の取り組むべき課題を明確にし、社会人権教育推進上の諸問題について研究協議することにより、人権感覚を磨き合う。また、人権問題を自らの課題として解決する意欲と実践力を互いに育むことができるようにするために、地域ぐるみの人権教育の主体的な推進を図る。	7.9(木)	144	南信教育事務所
信州高遠	人権教育フォーラム	人権尊重社会の実現に向け、「人権教育・啓発に関する基本計画」(平成14年3月閣議決定)に基づき、社会教育における人権教育を一層推進するために人権に関する実践的な2年間の事業成果を広く地域の方々に普及を図る。	11.21(土)	84	人権教育推進の ための調査研究 事業実行委員会
妙高	教員免許状更新講習	国立妙高青少年自然の家での自然体験活動を通して、体験活動の教育的意義やその指導方法を理解し、教員としての資質・能力の向上を図るとともに、学校教育における体験活動の充実へ寄与する。	①8.17(月)～19(水) ②1.5(火)～7(木)	16	上越教育大学 他1団体

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	連携先
妙高	環境教育指導者養成研修(東部ブロック)	「国連持続可能な開発のための教育の10年」及び学習指導要領の改定を踏まえた環境教育を推進する際に留意すべき事項(外部資源の活用の在り方等)について必要な知識等の習得をはじめ資質・能力の向上を図るとともに、本研修内容を踏まえての各都道府県における研修の講師等としての活動や各学校への指導・助言等が受講者により行われるようにする。	10.20(火)～23(金)	67	独立行政法人教員研修センター
妙高	学社共同参画セミナー	大学等との連携で教員を志す学生に対し、青少年教育に関する演習を行い、企画・運営・評価を実践的に学ぶ機会を提供する。	①8.10(月)～12(水) ②2.12(金)～14(日)	37	上越教育大学 他3団体
妙高	豊かな体験活動推進フォーラム	「豊かな体験活動」の一層の推進を図るため、関連する諸機関との連携を図り、各種事業の取組から得られた成果や課題を明確にし、その改善の方策を探る。	10.24(土)～25(日)	261	全国小学校学校行事研究会
妙高	妙高遊々の森	林野庁上越森林管理署との協定において以下の国有林の野外活動エリアとして、利用団体に提供し、環境教育や自然体験・自然学習に役立てる。 (1) 五万戸国有林、(2) 藤巻林道周辺、(3) 真川とニグロ川とその支流、(4) 夢見平、(5) 妙高山・関・燕温泉付近等、(6) その他協定書締結者等が必要とする区域・事業	通年	—	林野庁上越森林管理署
妙高	少年期におけるリーダーシップの評価方法に関する調査研究	義務教育段階からの意欲・やる気等を引き出すことが国際戦略として不可欠であるという状況を踏まえ、青少年とくに義務教育の児童生徒に求められるリーダーシップの資質・能力を明らかにし、リーダーシップ習得を測定する評定尺度を開発し、一般化する。	通年	—	ルーテル学院大学 他2団体
妙高	青少年の発達課題に応じた「生きる力」を育む体験活動の在り方に関する調査研究	中部・北陸ブロック5教育拠点が青少年教育ナショナルセンターとしての機能を発揮し、青少年の各年齢期の「生きる力」を育む教育プログラムの研究・開発を行う。また、年齢期に応じた効果検証方法で調査を行うことにより、教育プログラムの有効性を検証する。	年間4回	—	信州大学 他1団体
妙高	平成21年度上越地区特別支援教育研究大会	新潟県内の特別支援教育を推進する関係機関と連携し、研究大会を開催することにより、特別に支援を要する児童・生徒を対象とした自然体験活動の行い方や指導法及び国立青少年教育施設の効果的な活用方法を発信・普及する。	8.20(木)	450	新潟県特別支援教育研究会 他7団体
立山	低年齢期における自然体験活動指導者研修プログラムの開発	幼・小の教員や保育士を目指す学生が、低年齢からの自然体験活動の意義を理解し、あわせて資質向上を図るため、大学と連携し自然体験活動指導者研修プログラムを共同開発する。	11.28(土)～29(日)	33	富山大学
若狭湾	漁家体験シリーズ～食文化の伝承～ ①へしこ作り ②なれずし作り	若狭地方の伝統的スローフードを通して食文化についての理解を深めるとともに、漁家の生活を体験し、交流を図る。	①4.25(土)～26(日) ②10.24(土)～25(日)	112	福井県小浜市食文化館
若狭湾	わくわく体験塾	若狭地域の歴史・文化等を知り、そのすばらしさに気づく。海の活動を通して、海のすばらしさや環境について学ぶ。	11.21(土)～23(月)	20	福井県立若狭歴史民俗資料館 他3団体
若狭湾	青少年の発達段階に応じた「生きる力」を育む体験活動の在り方とその効果の検証方法に関する調査研究	5教育拠点で行う「青少年の人間関係能力を高める」事業を対象に、青少年の各年齢期における体験活動において「人間関係能力を高める教育プログラム」を開発する。体験活動の効果を測定する検証方法を確立し、その教育プログラムの有効性を検証する。	通年	—	信州大学 他1団体
曽爾	発達障害の子どもたちへの教育支援事業 そにとキャンパ ～瞳きらきら・心わくわく～ ①プレキャンパ ②メインキャンパ	発達障害のある子どもたちを対象に、体験活動プログラム全般に行動理論に基づくSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)を取り入れ、冒険的な活動等を通して、やり遂げた時の小さな達成感や成功感を積み重ねる中で、社会性や自己肯定感を養う。また、保護者、教員を対象に、親プログラム及び先生プログラムを導入し、発達障害の子どもたちへの適切な支援の在り方について研修を行う。	①6.27(土)～28(日) ②9.19(土)～21(月)	32	日本発達障害ネットワーク奈良支部 他1団体

教育施設名	事業名	趣旨	期間	参加者数	連携先
曾爾	そこに自然体験道場 ～自然のきびしさが、あなたをたくましく育てます～	子どもが自然にふれあう機会が減少してきた今日、便利な生活の中で忘れられがちな「自分のことは自分でする」、「他人と協力する」などの生きる基本を身につけさせるため、小学校の子どもと高校生が野営を中心とする協同生活や異年齢交流を通して、子どもたちの主体性を育み、責任感や自主性、自立と協調性を養い、相互に人間的成長を促す。	7.18(土)～20(月)	30	水資源機構青蓮寺ダム管理所
曾爾	夢冒険 真夏にチャレンジ ～統:秘密基地”山と湖の大冒険!”～ ①メインキャンプ ②ポストキャンプ	日常体験できない自然体験や冒険活動の中で、自己をみつめ他人と協力していく機会を設定し、意欲、主体性、社会性を育む。また、長期のキャンプを通し、生活リズムの向上を図ることや活動をやり遂げることで達成感を味わい、自己効力感や自信を持たせ、新たな仲間との信頼関係を築く。	①8.4(火)～11(火) ②2.13(土)～14(日)	55	水資源機構青蓮寺ダム管理所
曾爾	幼児のための自然体験活動プログラム開発	人間形成の基礎を育む上で重要な幼児期における自然体験活動の機会の充実を図るため、幼稚園と連携して自然体験活動プログラムの開発に取り組み、幼児期における自然体験活動の普及・啓発を図る。	通年	—	奈良文化女子短期大学付属幼稚園
山口徳地	ウイズ ユア スマイル ～君の笑顔はすばらしい～①② ③④⑤	発達障害児(LD・ADHD・高機能自閉症等の児童)が安心して活動できる集団環境の中で、自己肯定感や仲間とのコミュニケーション能力を高めることを目指す。そのために山口徳地の特徴である「徳地アドベンチャー教育プログラム」を活かしながら自然体験や生活体験、交流体験活動を行う。	①7.12(日) ②9.6(日) ③11.3(日) ④12.6(日) ⑤1.23(土)～24(日)	58	やまぐち総合教育支援センター ふれあい教育センター 他2団体
山口徳地	キッズわくわくキャンプ①②③④	自分と他者や、自然、社会、環境との関わりを感じ始める就学前幼児(年長児)と小学校低学年期の児童を対象に、異年齢のなかまと自然に積極的に関わり、感動を共感する体験活動を通して、他者や自然と共に生きる自分への自信を持たせると共に、主体性、社会性を育む。	①6.6(土)～7(日) ②8.7(金)～9(日) ③10.31(土)～11.1(日) ④1.16(土)～17(日)	182	山口県立大学看護栄養学部栄養学科
山口徳地	山口大学教育学部『「ちゃぶ台」方式による協働型教職研修』 「体験学習法習得プログラム・ちゃぶ台林間学校」	教員養成の一環として実施される本事業に対し、青少年教育施設のもつノウハウや特徴を提供することで、その役割を果たすとともに、本事業を通して大学との連携を図る。	①8.28 ②11.7(土)～8(日) ③3.27(土)～29(月)	98	山口大学教育学部
山口徳地	特定の状況にある青少年の自立を支援するプログラムの開発	いじめや虐待、不登校等の悩みを抱える児童相談所に来所する青少年の自立支援の一助となるプログラムを関係機関と連携し、協調性や信頼感を育む「徳地アドベンチャー教育プログラム」による教育実践を基盤に開発する。	通年	—	北九州市子ども総合センター
室戸	日本列島ともだちの輪 冬編	お互いに異なる地域の子どもたちが交流し、生活様式や自然環境等の違いを体験することで、ともだちの輪を広げ、郷土の良さを再認識するとともに、他者を尊重する気持ちをはぐくむことをねらいとする。また、活動の中で海に関する職業に触れることで、勤労観、職業観を育成する。	②12.26(土)～28(月)	30	組立立丹波少年自然の家
夜須高原	福岡県「障害児」自立促進プログラム開発事業	夜須高原青少年自然の家を持つノウハウとフィールドを生かし、福岡県の二つの公立施設と連携して、障害のある児童・生徒の自立と保護者のネットワーク作りを目指したプログラムを開発する。	①12.12(土)～13(日) ②1.9(土)～11(月)	61	福岡県立少年自然の家「玄海の家」 他1団体
夜須高原	平成21年度オリンピック巡回指導事業	オリンピックで活躍した柔道選手を招き、講演や実技指導を通して青少年の健全な育成並びに青少年のスポーツ活動の振興を図るとともに、オリンピックムーブメントへの理解を深める。	2.7(日)	81	特定非営利活動法人 日本オリンピック協会 他1団体
大隅	鹿屋体育大学との連携によるおおすすめスポーツキャンプ①②	鹿屋体育大学との連携協力協定に基づき、コミュニケーション能力の向上を図ることによるチームづくりや青少年の体力・運動能力を踏まえたトレーニング法によるスポーツ技術の向上を図ることにより、青少年の自立支援を図る。	①11.7(土)～8(日) ②1.23(土)～24(日)	89	鹿屋体育大学

※参加者数を「—」とした事業は、調査研究事業のため参加者を募集しなかったものである。